

科目区分	専門教育科目	授業科目名	ゼミナールb			科目コード	26Y602	担当者	織田 芳人、松尾 公則、本村 弥寿子、中村 浩美、野田 章子、船勢 肇、山中 慶子、三原 ミヨ子、小槻 智彩、宮崎 美緒子			担当形態	クラス分け
対象学科・コース	幼児教育学科	配当年次	2年次	開講学期	秋学期	単位数	2	必修・選択の別	選択	免許・資格要件			
授業形態	演習	履修条件							教育職員免許法施行規則に定める科目区分等	科目区分			
実務の経験を有する教員担当科目				実務の経験内容及び科目との関連							科目に含めることが必要な事項		

授業の主題	自らの研究テーマをもとに、資料の収集、調査、実技実習を行う。その中で直面する様々な問題に適切に対応し、自ら解決できる能力や態度を身につける。	課題等への対応 (フィードバックの方法等)	担当教員が点検・添削し、その都度指導を行う。
授業の方法	担当教員の専門性に沿った研究テーマを決め、主体的に資料収集・調査・実技実践等を行う。	アクティブ・ラーニングの実施方法	・特定のテーマについてのディスカッションを通して理解を深める方法を用いる。 ・学内外のフィールドに赴き、調査や観察を通して情報収集を行う。 ・学生が自ら調査をして学修する方法を用いる。

回数	授業計画	事前・事後学修	回数	授業計画	事前・事後学修	
第1回	ゼミナール活動の進め方について（全教員）	ゼミナール活動の進め方をまとめる	第9回	調査・実践研究活動（全教員）	活動記録をまとめる	
第2回	調査・実践研究活動（全教員）	活動記録をまとめる	第10回	調査・実践研究活動（全教員）	活動記録をまとめる	
第3回	調査・実践研究活動（全教員）	活動記録をまとめる	第11回	発表会準備（全教員）	発表会に向けて準備をする	
第4回	調査・実践研究活動（全教員）	活動記録をまとめる	第12回	発表会準備（全教員）	発表会に向けて準備をする	
第5回	ゼミナール報告集について（全教員）	ゼミナール報告集についての講義	第13回	発表会準備（全教員）	発表会に向けて準備をする	
第6回	調査・実践研究活動（全教員）	活動記録をまとめる	第14回	発表会準備（全教員）	発表会に向けて準備をする	
第7回	調査・実践研究活動（全教員）	活動記録をまとめる	第15回	ゼミナール発表会（全教員）	各ゼミナール活動の発表	
第8回	調査・実践研究活動（全教員）	活動記録をまとめる			事前・事後学修時間 (分/授業1回)	180分/授業1回

教科書 [書名/著者名/出版社]	ゼミナールの内容に応じて必要なものを、各担当教員が準備する	受講生へのメッセージ	小グループでの1年間にわたる研究活動です。教員と学生、学生同士の触れ合いの中からも多くのことを学んでください。
参考書 [書名/著者名/出版社]	なし		

評価基準																
学修成果の大分類	学修成果の中分類 [10の力]	配点比率 (%)	評価方法の配点比率 (%)					学修成果の小分類			尺度					
			定期試験	臨時試験	提出物	発表内容	受講態度	実習評価	学修成果の到達目標	修得する能力	評価方法/評価指標	レベル5 (S : 100~90%)	レベル4 (A : 89~80%)	レベル3 (B : 79~70%)	レベル2 (C : 69~60%)	レベル1 (F : 59%以下)
卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）	尽心	① 学習意欲														
		② 規律性														
	創造	③ 知識														
		④ 技能														
	表現	⑤ 情報活用能力														
		⑥ 課題解決力	50			17	17	16	幼児教育について、問題を発見し、様々な方法を用いて深めることができるようになる。	問題発見力、論理的思考力、創造的思考力	報告集、発表会、及びそれらの準備	非常に適切な問題を発見し、大変よく探求することができる。	ある程度適切な問題を発見し、ある程度探求することができる。	適切な問題を発見し、探求することができる。	問題を発見し、探求することができる。	問題を発見し、探求することができない。
	実践	⑦ 言語活用能力														
		⑧ コミュニケーション力														
	実践	⑨ 主体性	50			17	17	16	幼児教育について、自ら積極的に取り組み、探求することができるようになる。	積極性、忍耐力、行動力、応用力、責任感	報告集、発表会、及びそれらの準備	自らきわめて積極的に取り組み、探求することができる。	自らとても積極的に取り組み、探求することができる。	自ら積極的に取り組み、探求することができる。	自ら取り組み、探求することができる。	自ら取り組み、探求することができない。
		⑩ 協働性														
合計		100			34	34	32									